事務事業評価シート（評価実施年度：平成２７年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ－４－５　環境保全の推進

１.事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	環境政策課長　湊　直樹	電話番号	0852-22-5345

事務事業の名称		土壌環境保全事業費
目的	（１）対象	県民
	（２）意図	土壌汚染対策を図ることにより、県民の健康を保護する。
事業概要	土壌汚染の実態把握及び土壌環境を保全し、人の健康を保護するため、事業者及び県民等に対して届け出の受理及び指導を行う。また、休廃止鉱山に由来する有害物質による公共用水域への影響を監視するために、水質測定計画に基づき水質調査を行う。	

２.成果参考指標

			年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
(1) 成果参考指標	指標名	土壌汚染の改善割合	目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	%
	式・定義	措置済み区域件数／指定区域件数	実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00			%
	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
	式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

３.事業費

	２６年度実績	２７年度計画
事　業　費（b）（千円）	271	318
うち一般財源（千円）	271	318

４.改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない

５.評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成26年度における県内の指定区域件数は１件であるが、法が求める対応としての指定および適正な管理が行われている。

６.成果があったこと（改善されたこと）

指定区域について適切な管理が行われている。

７.まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

特になし

②困っている状況が発生している「原因」

特になし

③原因を解消するための「課題」

特になし

８．今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き土壌汚染の実態を把握および土壌環境を保全するとともに、人の健康を保護するため、事業者及び県民等に対して届け出の受理及び指導を行う。また、休廃止鉱山に由来する有害物質による公共用水域への影響を監視するために、水質測定計画に基づき水質調査を行う。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

９．追加評価（任意記載）